海外レポート	**中国　大連**

「大連市、中国国際輸入博覧会へ参加」

趙　万利

第６回中国国際輸入博覧会（CIIE）が 11 月５日～11 月 10 日、上海国家会展中心（世界第２位の規模のコンベンションセンター）で開催されました。

大連市の企業などで構成された大連市取引団は同博覧会に参加し、博覧会の国際調達、投資促進、人的・文化交流プラットフォーム機能を利用して世界市場の新しいチャンスを模索しました。

今回の大連市取引団には 700 以上の企業、1,700 名以上の人を集め、参加者数は過去最高となりました。博覧会期間中、大連市の参加企業は、128 の国と地域から参加した 3,400 社あまりの企業と交渉する機会を持つことができました。

博覧会には面積が 300 平方メートルとなる大連市人文展示館が設置されました。「オープンイノベーションの都、ロマンチックな海湾都市」をテーマとして、無形文化遺産、アパレル産業、老舗ブランド、農水産物、大連ギフトの五つの展示エリアを含む、計 30 社以上の企業が集中的に展示しました。

【大連市の展示エリア】

また 11 月７日には大連市対外貿易投資促進及び多国籍企業のマッチング会が行われました。ナイジェリア、スペイン、ニュージーランド、オランダ、カナダ、ブラジル、パキスタンなどの国から参加した 30 数社は、大連市取引団の企業と博覧会の現場で商談を行いました。今回のマッチング会は大連市政府が主催、市商務局が運営し、欧米の商工会議所が共催しました。会議では大連市の産業基盤、港湾・海運条件、財務基盤およびビジネス環境が紹介され、大連市の投資促進による新たなビジネスチャンスとして参加企業に共有されました。

【大連市人文展示館】

そのほか、中国館で設置された「中国自由貿易区 10 周年記念展」では、中国（遼寧省）自由貿易区試行区の大連自由貿易区の写真も展示されました。その中には、大連自由貿易区の「鉱石流通センターと混合基地」の写真が展示されただけでなく、整備中の新プロジェクト「大連青泥窪橋（チンニーワーチャオ）」地区も紹介されました。

2023 年９月末時点で、19 の整備プロジェクトのうち、近隣地区メインエントランス整備、馬蹄岩広場整備、街区整備を含む 17 の整備プロジェクトが完了し、プロジェクト全体が 12 月末までに完了する見込みです。新世界百貨店の京東モール、万衆城 RCEP 越境体験館プロジェクト、金慧（キングウィ）企業ライブサービス基地プロジェクト（※1）など 57 のプロジェクトのうち、45 のプロジェクトがすでに正式に運営を開始し、10 のプロジェクトが改修・整備を完了しました。アップグレードされた「大連青泥窪橋」地区は間もなく新しい姿に生まれ変わります。

大連市は同博覧会を通じて、世界のバイヤーとの「双方向の交流」で、新たなネットワークを構築し、協力関係を結ぶ多くの機会を提供することができました。

（※1）金慧企業ライブサービス基地プロジェクト：大連慧未来科学有限公司（金慧科技グループの傘下）が開発、特色ある製品ブランドに焦点を当て、人気インフルエンサーの影響力を利用してライブコマースの展開を行うもの

参考リンク：

① 博覧会現場でのマッチング商談、世界のバイヤーとの「双方向の交流」

② 輸入博覧会、中国館に大連要素が満載